



公益財団法人 大学セミナーハウス

eラーニングによる教員免許状更新講習

1

スマホで完結！

カメラ付きスマホさえあれば受講可能!!
AndroidでもiPhoneでもOK!!
カメラ付きであればPC (Windows、Mac)でも、タブレット端末でも!!

2

自宅で完結！

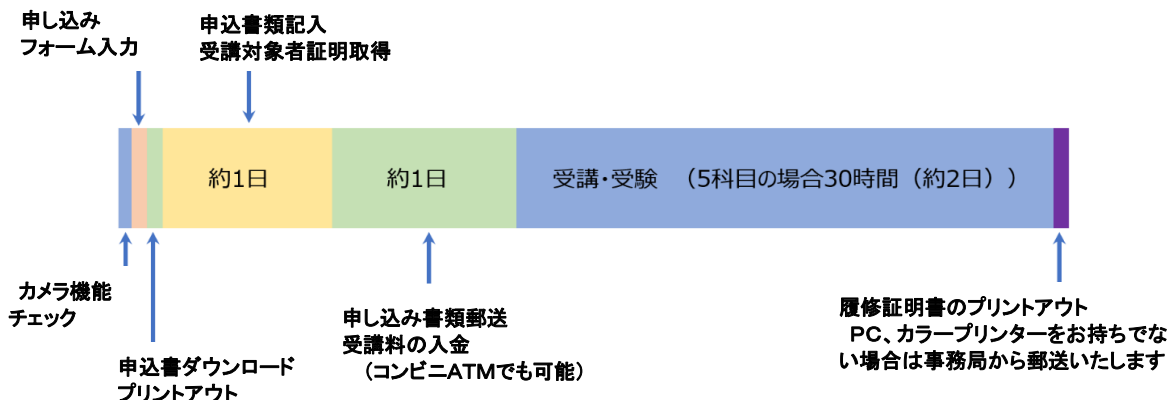
お申込み、受講、修了認定試験、修了証のお受け取りまで、自宅にいながら可能だから待ち時間ゼロ!!
※お申込み、受講、試験、履修証明受け取りすべて自宅で可能なのは当講座のみです。

3

24時間365日！

完全自宅受講・受験制なので定員無制限・待ち時間ゼロ!!
好きな時間・場所ですべて完了!!
※自動顔認証システム (特許出願中) で、いつでも受講・受験が可能です!!

申し込みから履修証取得までのシミュレーション (最短の場合)



幼稚園、小・中・高等学校の全教員に対応

本講習は、すべての科目が全校種（幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校）の、全教員（教諭・養護教諭・栄養教諭）に対応していますので、必修領域・選択必修領域・選択領域のすべての領域から 全 30 時間の受講が可能です。 ※1 科目からの部分受講も可能です。

いつでも申込可能

本講習は、4 月から翌年 3 月末まで 1 年を通じて受講を受付けていますので、いつからでも受講が可能です。 ※受講までの手順は、「申込みから受講完了までの流れ」をご確認ください。

どこからでも、何度でも、好きな時間に受講が可能

インターネットに繋がるパソコンかスマートフォンがあれば、どこからでも、何度でも繰り返し、好きな時間に受講できます。他の機材の準備や専用ソフトのインストールなど面倒な作業はありません。

ご自宅から 24 時間いつでも受験が可能(各科目 3 回まで受験可能)

スマートフォンかカメラ付きパソコンがあれば、自動顔認証機能で 24 時間いつでも試験が受けられます。

試験合格後、すぐに履修証明書を発行

修了確認試験が終了すると、すぐに合否結果が判明します。カラープリンターに接続したパソコンがあればその場で履修証明書を印刷できます。カラープリンターがない方には、事務局から通常 3 営業日以内に郵便で送付します。

▶パソコン、タブレットの画面例

▶スマホの画面例(横表示)

▶スマホの画面例(縦表示)

2019 年度 募集要項

募集期間	<ul style="list-style-type: none"> 2019年2月16日～2020年3月31日
受講期間	<ul style="list-style-type: none"> 2019年4月1日～2020年3月31日（2021年3月31日まで延長可能です。）
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> 教員免許状更新講習の受講対象の方 スマートフォン・パソコンで受講可能な環境のある方
提供科目	<ul style="list-style-type: none"> 必修領域2科目、選択必修領域11科目、選択領域11科目です。講習時間は、すべての科目が6時間です。 更新に必要な30時間のすべてを受講できます。 大学や他団体が提供する講習との組合せも可能です。
受講料	<ul style="list-style-type: none"> 1科目 9,000円、全5科目 45,000円（試験料を含みます。）
修了確認試験	<ul style="list-style-type: none"> 修了確認試験は、すべて選択問題（1科目8～10問程度）で、制限時間は1科目40分です。 合否（合格ライン60%）は、試験終了後すぐに判明します。 不合格の場合は、すぐに再試験・再々試験が可能です。それ以降の試験はできませんので、もう一度申込み（有料）をしてください。
履修証明書	<ul style="list-style-type: none"> 履修証明書は、すべての試験に合格した日から3営業日（土・日曜日、祝祭日を除く）以内にまとめて郵便で送付します。 カラープリンターに接続されたパソコンをお持ちの方は、ご自分で印刷することもできます。
動作可能環境	<ul style="list-style-type: none"> Windows（OSはWindows7以降）のPC、Androidのスマートフォン・タブレットをお使いの方は、Google Chrome バージョン69以上です。 Mac（OS X 10.9以降）のPC、iPhone、iPadをお使いの方は、Safari バージョン11以上です。 上記以外のInternet Explorer、Microsoft Edgeなどのブラウザではカメラ機能が正常に動作しません。 パソコンをご使用の場合は、内蔵カメラまたは外付けのWebカメラが搭載されていることが必須です。

申込みから受講完了までの流れ

ステップ1

お使いの端末のカメラ機能チェックとお申込みフォーム入力

- ・ 「eラーニングによる教員免許状更新講習」のホームページにアクセスし、「受講お申込み」ボタンをクリックする。
- ・ 募集要項を確認して、「お申込みページへ」をクリックするとカメラの動作を確認するページに切り替わります。自動でお使いの端末のカメラ機能のチェックが行われます。
- ・ カメラの映像が正常に表示されたら「申込へ進む」をクリックして、「申込みフォーム」へとお進みください。

ステップ2

お申込み受付完了メールが届きます

- ・ 申込みフォームを送信した直後、事務局から申込書類のダウンロード URL を記載した仮申込完了のメールをお送りします。
- ・ そのメールをみて申込書類をプリントアウトし、必要事項をご記入ください。

ステップ3

お支払いと申込書類の郵送

- ・ メールの内容に従い、受講料を振り込み、受講申込書と事前アンケートを郵送してください。

ステップ4

お申込みの確定と、ログイン用 ID、パスワードの発行

- ・ 入金と受講申込書の到着が確認できましたら、お申込書類到着より3営業日以内に受講用 ID とパスワードを記載した「申込確定通知」メールを事務局からお送りします。

ステップ5

受講開始

- ・ 「eラーニングによる教員免許状更新講習」のホームページの「受講者ログイン」から受講用 ID とパスワードを入力して受講してください。
- ・ スマートフォン、パソコンで、24時間、365日いつでも何度でも受講可能です。

ステップ6

修了確認試験

- ・ 各科目とも、受講完了後は24時間、365日いつでも都合のよいタイミングで試験を受けることができます。
- ・ 試験の前後に、顔認証による本人確認を行います。
- ・ 合否は試験終了後すぐに表示され、不合格の場合は再試験・再々試験を受けることができます。

ステップ7

履修証明書の印刷

- ・ カラープリンターに接続されたパソコンをお持ちの方は、試験合格後すぐに履修証明書を印刷することができます。（スマートフォン、タブレットからは印刷できません。）
- ・ カラープリンターとパソコンをお持ちでない方には、事務局から郵送します。（全科目合格した日から3営業日以内にまとめて発送します。）

提供科目一覧

- ・ 各科目とも時間は6時間、対象は全校種（幼、小、中、高等学校、特別支援学校）、全教員（教諭、養護教諭、栄養教諭）です。
- ・ 【選択必修領域】と【選択領域】については、同一科目名の講習を選択することはできません。

【必修領域】（下記必修科目から1科目を選択していただけます）

科目名	eラーニングによる教育の最新事情
講師	濱名 篤（関西国際大学教授） 川嶋 太津夫（大阪大学教授） 加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	本講習では、AIの発達や様々な分野でのグローバル化が進展する今日、日本や海外諸国が、どのように教育改革を進めようとしているのかを、各国の教育政策や教育実践の紹介を通じて理解を深める。さらに「子ども観と教育観の形成」、「子どもの成長とその支援」、「子どもの生活環境の変化」を紹介することにより、子どもについての最新の知見を提供する。

科目名	中・高教員のためのeラーニングによる教育の最新事情
講師	濱名 篤（関西国際大学教授） 川嶋 太津夫（大阪大学教授） 加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	特に中・高教員向けの講習として、AIの発達や様々な分野でのグローバル化が進展する今日、日本や海外諸国が、どのように教育改革を進めようとしているのかを、各国の教育政策や教育実践の紹介を通じて理解を深める。さらに、「子ども観と教育観の形成」、「子どもの成長とその支援」、「子どもの生活環境の変化」を紹介することにより、子どもについての最新の知見を提供する。

【選択必修領域】（下記選択必修科目から1科目を選択していただけます）

科目名	教育相談への期待と課題——不登校・いじめの克服をめざして——
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	教育の役割は教科学習が中心だが、その根底には社会人（自立した市民）として育てるという役割もある。そのためさまざまな問題（不登校、いじめなど）を抱え苦しんでいる子どもたちの相談にのり、課題を共有しつつ乗り越えていく支援をすることが重要である。問題を子どもと共有しつつ、家庭、学級の生徒、学内外とも協力し、課題を解決し、また教育のあり方を改善していくことも目指していく。

科目名	健やかな子どもの生と性を育むために——性の人権、科学、道徳について考える——
講師	村瀬 幸浩（元一橋大学講師）
概要	本講習ではまず、「性」について子どもたちに学ばせることの意義、必要性を理解していただく。つぎに、人の生命のなりたち（出産・出生）について、さらに「からだ」と「性」、「心」が成長し変化しながら大人になっていく状況を説明したい。最後に、人権・科学・道徳的観点からどのような指導、アドバイスがふさわしいかを紹介したい。

科目名	情報教育の基礎と教育へのICT活用
講師	有賀 清一（桜美林大学講師）
概要	本講習では、最初に情報の基礎を概説し、情報リテラシーと情報モラルとは何かを説明し、扱い方次第で危険なものであることを理解していただく。ついでICTを活用することによってコミュニケーションがいかに豊かになるかを理解していただく。具体的には、アクティブラーニングやeラーニング作成方法など、授業運営に活用できるノウハウを提供したい。

科目名	学校危機管理 —— 3つのLackの視点から ——
講師	蔦澤 元晴（早稲田大学大学院講師）
概要	近年、学校の内外には「学校危機」に直結する様々な問題が起き、その度に学校危機管理のありようが問われている。本講習では、「学校危機」は何故に起きるのかを3つのlack（欠如）という視点から考察するとともに、その未然防止（リスクマネジメント）のあり方や手法、心構え等についても考えていきたい。

科目名	学校、家庭、地域との連携と協働
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	現代の子どもの成長を支える機能は、学校教育だけではその内容の多様さと複雑さのため限界があることは明らかである。そこで、子どもたちの生活している地域社会をも一つの学びの場として位置づけ、地域社会との連携をはかりつつ協力し、子育てすることが必要となってくる。本講座では、学校を地域に開き、家庭・地域と連携して学ぶ新たな学校教育のあり方を考察し、地域づくりの拠点としての学校のあり方をめざす教育論を展開する。

科目名	人権、共生、道德に関する性の学習——思春期の性と生を育てる——
講師	村瀬 幸浩（元一橋大学講師）
概要	思春期を境に子どもたちのからだ、こころは大きく変化する。その変化は性意識、性行動にあらわれやすく、子どもたちを不安にし悩ませることになる。このことについて指導する人たちは改めて深く理解し、子どもたちが直面する自立の課題に立ち向かえるよう援助したいものである。また性の問題は人権と相即不離であるとともに人の生き方、道德とも深くかかわるテーマでもあることをわからせ指導したい。本講習では性の問題をとおり、道德教育や指導についても考える。

科目名	様々な教育課題をかかえる学校の現状と組織的対応
講師	大和久 勝（元埼玉大学講師）
概要	本講座では、様々な教育課題をかかえる学校の現状を踏まえ、組織的対応の必要性、学校組織の一員として行動するマネジメント・マインドの重要性、学校・家庭・地域社会との連携の在り方などについて考察する。いじめの問題、不登校や虐待の問題、発達障害理解の問題、保護者の問題などは、組織的対応をいかにつくり出していくかが問題解決のカギとなることを理解していきたい。

科目名	「問い」を生きる教師へ——教員の自己吟味力を高めるために——
講師	安積 力也（元基督教独立学園高等学校長）
概要	生きづらさを抱えて苦しんでいる子ども達が多い今、教員の「心のバリアフリー」の理解が必要とされている。教師は「自分を知る量」までしか、生徒を理解できない。問われるのは、教師自身の「自己吟味力」である。なおも人間教育（子どもが固有の「私」になる教育）を志すならば、常に問いつづけるべき「自問」がある。学校を巡る近年の状況の変化と、私自身の苦しかった教師経験を語りつつ、いくつかの本源的な「自問」を提示して、受講者の自己理解に供したい。

科目名	「聴く」教師・「待つ」教師へ——日本聾話学校の教育が問いかけてくること——
講師	安積 力也（元基督教独立学園高等学校長）
概要	子どもが思春期以降、心のバリアのない真の自立をするために、乳幼児期に経験しておくべきことは何なのか。そのために幼稚園教員に何が問われているのか。先天性聴覚障がい児の「言葉（音声言語）」を育てる教育を探求し続けてきた日本聾話学校の現場からの知見を中心に、両親ガイダンスのあり方を含め、近年の学校を巡る状況の変化や問題提起的な話しをしたい。本講習は子どもの成長を支える教員の参考となる内容が多く含まれていることから、幼稚園教諭以外も対象とする。

科目名	子どもの貧困問題と学校教育
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	学校を巡る状況の変化の中で、殊に問題化している貧困とは何か。また貧困と子どもの成長に相関関係はあるのかを検討した上で、子どもの生活実態のデータをもとに考察する。また、制定された「子どもの貧困対策に関する大綱」の理解のため、内容を解説する。その上で、学校現場で何ができるか、具体的に実践例を示しつつ考える。全ての子どもが通う学校には、他の専門機関、地域の方々とも協力し、総合的に子どもを支え、成長させていくプラットフォームとしての役割があることを確認する。

科目名	耳をひらく、心をひらく——音から育む人間の豊かな感性、創造性——
講師	宮内 康乃（東京学芸大学講師）
概要	「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」（29.2.20 関係閣僚会議にて決定）において、教員の「心のバリアフリー」の理解のための取組みが必要とされたように、近年の学校を巡る状況は大きく変化しており、その理解と対応が強く求められている。本講座では、学校を巡る近年の状況の変化を学ぶとともに、誰でも参加できるシンプルなアプローチで、素直な感性を開き、世代や人種を越えた多様な人たちとのコミュニケーション能力や、自由な創造性を養っていく（心のバリアフリー）方法を、実践例を示しながら紐解いていく。

【選択領域】（下記選択科目から3科目を選択していただけます）

科目名	教育相談への期待と課題——不登校・いじめの克服をめざして——
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	教育の役割は教科学習が中心だが、その根底には社会人（自立した市民）として育てるという役割もある。そのためさまざまな問題（不登校、いじめなど）を抱え苦しんでいる子どもたちの相談にのり、課題を共有しつつ乗り越えていく支援をすることが重要である。問題を子どもと共有しつつ、家庭、学級の生徒、学内外とも協力し、課題を解決し、また教育のあり方を改善していくことも目指していく。

科目名	健やかな子どもの生と性を育むために——性の人権、科学、道徳について考える——
講師	村瀬 幸浩（元一橋大学講師）
概要	本講習ではまず、「性」について子どもたちに学ばせることの意義、必要性を理解していただく。つぎに、人の生命のなりたち（出産・出生）について、さらに「からだ」と「性」、「心」が成長し変化しながら大人になっていく状況を説明したい。最後に、人権・科学・道徳的観点からどのような指導、アドバイスがふさわしいかを紹介したい。

科目名	情報教育の基礎と教育へのICT活用
講師	有賀 清一（桜美林大学講師）
概要	本講習では、最初に情報の基礎を概説し、情報リテラシーと情報モラルとは何かを説明し、扱い方次第で危険なものであることを理解していただく。ついでICTを活用することによってコミュニケーションがいかに豊かになるかを理解していただく。具体的には、アクティブラーニングやeラーニング作成方法など、授業運営に活用できるノウハウを提供したい。

科目名	学校危機管理 —— 3つの Lack の視点から ——
講師	蔦澤 元晴（早稲田大学大学院講師）
概要	近年、学校の内外には「学校危機」に直結する様々な問題が起き、その度に学校危機管理のありようが問われている。本講習では、「学校危機」は何故に起きるのかを3つのlack（欠如）という視点から考察するとともに、その未然防止（リスクマネジメント）のあり方や手法、心構え等についても考えていきたい。

科目名	学校、家庭、地域との連携と協働
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	現代の子どもの成長を支える機能は、学校教育だけではその内容の多様さと複雑さのため限界があることは明らかである。そこで、子どもたちの生活している地域社会をも一つの学びの場として位置づけ、地域社会との連携をはかりつつ協力し、子育てすることが必要となってくる。本講座では、学校を地域に開き、家庭・地域と連携して学ぶ新たな学校教育のあり方を考察し、地域づくりの拠点としての学校のあり方をめざす教育論を展開する。

科目名	人権、共生、道德に関する性の学習——思春期の性と生を育てる——
講師	村瀬 幸浩（元一橋大学講師）
概要	思春期を境に子どもたちのからだ、こころは大きく変化する。その変化は性意識、性行動にあらわれやすく、子どもたちを不安にし悩ませることになる。このことについて指導する人たちは改めて深く理解し、子どもたちが直面する自立の課題に立ち向かえるよう援助したいものである。また性の問題は人権と相即不離であるとともに人の生き方、道德とも深くかかわるテーマでもあることをわからせ指導したい。本講習では性の問題をとおり、道德教育や指導についても考える。

科目名	様々な教育課題をかかえる学校の現状と組織的対応
講師	大和久 勝（元埼玉大学講師）
概要	本講座では、様々な教育課題をかかえる学校の現状を踏まえ、組織的対応の必要性、学校組織の一員として行動するマネジメント・マインドの重要性、学校・家庭・地域社会との連携の在り方などについて考察する。いじめの問題、不登校や虐待の問題、発達障害理解の問題、保護者の問題などは、組織的対応をいかにつくり出していくかが問題解決のカギとなることを理解していきたい。

科目名	「問い」を生きる教師へ——教員の自己吟味力を高めるために——
講師	安積 力也（元基督教独立学園高等学校長）
概要	生きづらさを抱えて苦しんでいる子ども達が多い今、教員の「心のバリアフリー」の理解が必要とされている。教師は「自分を知る量」までしか、生徒を理解できない。問われるのは、教師自身の「自己吟味力」である。なおも人間教育（子どもが固有の「私」になる教育）を志すならば、常に問いつづけるべき「自問」がある。学校を巡る近年の状況の変化と、私自身の苦しかった教師経験を語りつつ、いくつかの本源的な「自問」を提示して、受講者の自己理解に供したい。

科目名	「聴く」教師・「待つ」教師へ——日本聾話学校の教育が問いかけてくること——
講師	安積 力也（元基督教独立学園高等学校長）
概要	子どもが思春期以降、心のバリアのない真の自立をするために、乳幼児期に経験しておくべきことは何なのか。そのために幼稚園教員に何が問われているのか。先天性聴覚障がい児の「言葉（音声言語）」を育てる教育を探求し続けてきた日本聾話学校の現場からの知見を中心に、両親ガイダンスのあり方を含め、近年の学校を巡る状況の変化や問題提起的な話しをしたい。本講習は子どもの成長を支える教員の参考となる内容が多く含まれていることから、幼稚園教諭以外も対象とする。

科目名	子どもの貧困問題と学校教育
講師	加藤 彰彦（沖縄大学名誉教授）
概要	学校を巡る状況の変化の中で、殊に問題化している貧困とは何か。また貧困と子どもの成長に相関関係はあるのかを検討した上で、子どもの生活実態のデータをもとに考察する。また、制定された「子どもの貧困対策に関する大綱」の理解のため、内容を解説する。その上で、学校現場で何ができるか、具体的に実践例を示しつつ考える。全ての子どもが通う学校には、他の専門機関、地域の方々とも協力し、総合的に子どもを支え、成長させていくプラットフォームとしての役割があることを確認する。

科目名	耳をひらく、心をひらく——音から育む人間の豊かな感性、創造性——
講師	宮内 康乃（東京学芸大学講師）
概要	「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」（29.2.20 関係閣僚会議にて決定）において、教員の「心のバリアフリー」の理解のための取組みが必要とされたように、近年の学校を巡る状況は大きく変化しており、その理解と対応が強く求められている。本講座では、学校を巡る近年の状況の変化を学ぶとともに、誰でも参加できるシンプルなアプローチで、素直な感性を開き、世代や人種を越えた多様な人たちとのコミュニケーション能力や、自由な創造性を養っていく（心のバリアフリー）方法を、実践例を示しながら紐解いていく。

お問い合わせ先

公益財団法人 大学セミナーハウス・eラーニング事業部

e-learning@seminarhouse.or.jp

<https://iush.jp/>(大学セミナーハウス)

<https://home-college.com/e-learning/kyomen/iush/> (eラーニングによる教員免許状更新講習)

〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1



2020年1月9日版